

科目名 Course Name	環境指導法 Environment Instruction Method						
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保田 隆範						
連絡先(質問等)	本館3階研究室か、メールで対応する。						
必修/選択	選択(保育士養成課程・幼稚園教職課程履修学生は必修)						
関連 DP	DP3、DP4、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>領域「環境」の意義を捉え、人間が生きていくうえで必要な環境に関する基本的知識や保育者に求められる指導法や態度の習得を目指す。</p> <p>① 幼稚園教育要領、保育所保育指針が目指す「保育内容環境」を、適切に考えることができるようにする。</p> <p>② 子どもが周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わるができる環境とは何かを物的・人的視点から理解し、具体的指導方法が実践できるようにする。</p> <p>③ 年齢に応じた指導計画の作成ができるようにする。</p> <p>④ 保育教材の適切な選定や使用方法を身に付けられるようにする。</p> <p>⑤ 子どもにとっての遊びの重要性と保育者の関わり方を考え、遊びの環境を構成することができるようにする。</p>						
授業の方法	グループワークを中心とし、実践に即した保育計画の作成や学生同士による模擬保育を行う。また、保育実践を豊かにするための保育教材の製作等も行う。						
学習成果	L01						
	L02	環境が人に及ぼす影響を理解した上で、多角的な視点から適切に子どもとの関わる事ができる。					
	L03	保育活動をより豊かに展開することができると同時に、発達の援助として必要な環境構成を行うことができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	発表に対するコメントは、その場で教員、及び聴講学友から与えられる。各課題に関しては、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:①体験する・調べる・考える 領域「環境」(萌文書林)、②平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本(チャイルド本社)						
履修上の留意点やルール等	保育者を目指す者として、目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。従って、私語・居眠り・授業に無関係の行動・不参加は「授業参加態度」において減点の対象とする。私語を慎み、真剣に受講すること。事前・事後学習時間の目安は各回45分相当とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:プレリーダー・研修講師 職歴:通算6年) 実践現場での多様な経験を、教材研究や空間デザイン、模擬保育の際に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業で使用する資料・教材の準備に勤しみ、ディスカッション場面では他者の意見を尊重しつつ自分の考えを述べ、模擬保育や発表聴講の際には的確な質問ができることが望ましい。		30		
レポート/作品	指示されたポイントが明確な内容である。提出期限を守る。(詳細は授業内で指示する)		30		
発表	聴講者にわかりやすい、構成と発話が意識されていること。十分に準備し、教員・学友からの質問にも的確に答えてもらいたい。			20	
小テスト	15回目に実施予定(詳細は授業内で指示する)			20	

佐野日本大学短期大学 2020 年度シラバス

試験				
その他				
合 計			60	40

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要(シラバスの説明、領域環境について、実習に伴う授業追加について、課題について)
	事前・事後学習	事後学習として、シラバスの読み込みと授業内容をまとめる。
2	授業内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「環境」のねらい及び内容
	事前・事後学習	教科書①の p22～27 と教科書②の p15～21 を読み、要点の整理をする。
3	授業内容	キャンパス自然マップと好奇心の中から科学を感じる
	事前・事後学習	教科書①の p6～17 を読み、要点の整理をする。
4	授業内容	五感を働かせる保育の環境と遊び① 自然と風を感じる環境製作
	事前・事後学習	自然や風を活かせる手作り遊具やあそびを事前にリサーチし、まとめる。事後は実践を通しての振り返りをまとめる。
5	授業内容	五感を働かせる保育の環境と遊び② 絵の具の活用
	事前・事後学習	絵の具の種類や活用方法について事前にリサーチし、まとめる。事後は実践を通しての振り返りをまとめる。
6	授業内容	五感を働かせる保育の環境と遊び③ 新聞紙の活用
	事前・事後学習	新聞紙の活用方法について事前にリサーチし、まとめる。事後は実践を通しての振り返りをまとめる。
7	授業内容	五感を働かせる保育の環境と遊び④ 身近な素材の活用
	事前・事後学習	身近な素材で保育に活かせるものをリサーチ、収集をする。事後は実践を通しての振り返りをまとめる。
8	授業内容	五感を働かせる保育の環境と遊び⑤ 数量・図形に親しむ環境製作
	事前・事後学習	生活環境の中にある数量・図形について事前にリサーチし、まとめる。事後は実践を通しての振り返りをまとめる。
9	授業内容	季節感を味わう一季節の行事と行事の由来
	事前・事後学習	保育現場で行われている季節行事について事前にリサーチし、まとめる。
10	授業内容	保育者と飼育・栽培 ビオトープとは
	事前・事後学習	保育現場で飼育や栽培されている動植物について事前にリサーチし、まとめる。
11	授業内容	グループ活動による保育計画の作成①指導案の作成ー幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を踏まえてー
	事前・事後学習	環境的視点を踏まえて活動内容の構想を練り、まとめる。
12	授業内容	グループ活動による保育計画の作成②模擬保育の実施・振り返り
	事前・事後学習	計画に対しての振り返り、改善点の抽出と、指導案への修正を行う。
13	授業内容	保育環境をデザインする① 理想の保育環境 構想を練る
	事前・事後学習	保育園やあそび場などの施設デザインを事前にリサーチし、まとめる。
14	授業内容	保育環境をデザインする② 理想の保育環境 イメージを具現化する
	事前・事後学習	教科書①の p190～201 を読み、事例からの参考点をまとめる。
15	授業内容	小学校との連携 生活科とのつながり 小テスト
	事前・事後学習	教科書②の p50 を読み、要点の整理をする。配布資料の振り返りをする。